

公益財団法人 日本グローバル・インフラストラクチャー研究財団  
平成 24 年度 事業報告

I. 事業の概要

- オリノコ・メタ川流域総合開発構想に関し、当該国に、同地域舟運計画、PPP提案募集の動きが出てきた。
- 北極圏の航路・資源開発構想について、北極圏研究評議会支援活動への参加等、長年に亘る当財団の研究活動を通じ、北極評議会への我が国の準加盟に協力。
- 新シルクロード、第7回シルクロード沿線市長会議トルコ・ガジアンテップ市開催・計画支援。
- UNIDO全地球超長期戦略に招待参加。グローバルな超長期計画の必要性を強調。
- 原子力等新エネルギーインフラ構想支援研究を開始。
- UAEなど内外の研究機関と協力し、東アジア地域のエネルギーインフラを多面的に整備連結の可能性を有する「Super Grid in Asia構想」の研究会開始。
- 平成25年2月、移行認定を受け、4月より公益財団法人に移行。

II. 調査研究

1. 広域インフラストラクチャー研究
2. 国際関係とインフラストラクチャーに関する研究
3. 地球環境改善
  - アラル海地域の環境改善
4. 資源・エネルギー問題
  - 東ヒマラヤ水系水資源開発
  - アジア天然ガスパイプライン網
  - 原子力エネルギー等エネルギーインフラ開発支援
  - エネルギー輸送インフラストラクチャー
5. 交通運輸インフラストラクチャー
  - ニュー・シルクロード開発研究
  - クラ運河プロジェクト
  - 北極海域他交通網整備・資源開発
6. 生活領域の拡大
  - オリノコ・メタ川流域総合開発プロジェクト